

## 平成21年度 健全化判断比率及び資金不足比率について

### 健全化判断比率について

(%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
早期健全化基準	12.75	17.75	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	
名張市			15.9	219.0

算定数値がないものについては、「-」を入力しています。

財政再生基準の連結実質赤字比率は、経過措置として10%上乗せを行った数値となっています。

### 資金不足比率について

(%)

	資金不足比率
経営健全化基準	20.0
病院事業会計	0.7
水道事業会計	
簡易水道事業 特別会計	
農業集落排水事業 特別会計	
公共下水道事業 特別会計	

算定数値がないものについては、「-」を入力しています。

## 各比率の説明と算定式

[実質赤字比率] 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

$$\text{実質赤字比率} = \text{一般会計等の実質赤字額} / \text{標準財政規模}$$

[連結実質赤字比率] 全会計を対象とした実質赤字(または資金の不足額)の標準財政規模に対する比率

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{(\text{一般会計等の実質赤字額} + \text{公営企業の資金不足額}) - (\text{一般会計等の実質黒字額} + \text{公営企業の資金剰余額})}{\text{標準財政規模}}$$

[実質公債費比率] 一般会計等が負担した元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額の算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額の算入額})}$$

(3ヵ年平均)

[将来負担比率] 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額の算入額})}$$

[資金不足比率] 公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率

$$\text{資金不足比率} = \text{資金不足額} / \text{事業規模}$$

\* 一般会計等 … 作成要領に基づき、名張市の一般会計等は、一般会計・福祉資金貸付事業特別会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・東山墓園造成事業特別会計の4会計が対象となっています。